

新町70周年記念

写真で振り返る 白い森の国おぐに No.2



②越戸集落の田植え風景（昭和33年6月）

農業機械が登場するまでは、田植えや稲刈り等の農作業は家族や集落で協力して行うものでした。写真のような田植えの風景は町内のどの地区でも見ることができましたが、昭和40年代後半から急激に機械化が進んだことにより、次第に見られなくなっていきました。

写真が撮影された越戸地区は農業や製炭、山菜などで生計を立てる山間の集落でした。昭和42年8月に発生した羽越水害によって大きな被害を受けたことなどから昭和43年12月に町中心部への集落移転が行われ、その歴史に幕を閉じました。